

「水城台区 市長と語る会」（要点記録）

□ 行政区 水城台区

□ 日時 令和 8 年 8 月 4 日（火）午後 7 時～午後 8 時 31 分

□ 出席者 （市民） 19 人（当該区：18 人 その他：1 人）

（執行部）13 人

市長、副市長、教育長、総務部長、総務部理事、市民生活部長、
健康福祉部長、健康福祉部理事、都市整備部長、観光経済部長、
教育部長、教育部理事、議会事務局長

（事務局） 3 人

経営企画課長、広聴広報係長、広聴広報係員

□ 会議内容

1 開会のことば

午後 7 時～

2 自治会長あいさつ

午後 7 時 03 分～

3 市長と語ろう①

午後 7 時 08 分～

- ・元気づくりポイント事業リニューアル
- ・知っていますか？ごみ減量とリチウムイオン電池の捨て方
- ・太宰府市地域公共交通の今

4 市長と語ろう②

午後 7 時 37 分～

- ・自由意見交換（別紙）

5 閉会のことば

～午後 8 時 31 分

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 1	意見	いろいろな自治体に移り住んできたが、太宰府に帰ってきて市と自治会の連携が非常に取れていることがよくわかった。 自分が住んでいる組は約 30 軒中約 10 軒が一人暮らしの高齢者である。まほろば号が減便になって不便になった。 高齢化が進行する中で市にお願いしたいことは、どこにどれだけの人が住んでいるのか把握することである。また、人口が減少していく中で、市は高齢者に対してどのような対応をするのかが、今後の課題だと思っている。	(市長) 高齢化、人口減少はこれからも進行していくのが実態です。そのような中、高齢者の方の移動手段を確保することは大切な課題であり、行政の責務であると考えています。 運転手不足に伴う大幅な減便で皆様にご迷惑をおかけしている次第ですが、国分・水城地区は、今年 12 月からオンデマンドバスの実証運行を開始する予定です。これはメリット、デメリットもございます。今後、各地域で説明会を開催いたしますので、その時に詳細は説明させていただきますが、概要を申し上げますと、バス路線はバス停の数が限られているところ、オンデマンドバスは乗り降りする箇所が今の路線バスよりも相当数が増えます。また、狭い場所も通ることができるメリットがあります。ただし、予約をしなければならない、また、その時に多くの方が乗られればいろいろなところを回って目的地に着く時間が若干かかるというデメリットもあります。しかし、よりきめ細かい、皆様の需要に応じた移動手段の一つだと考えています。 運転手の人数に限りがあることから、路線バスに加えてオンデマンドバスも活用し、皆様ができるだけ移動しやすい環境を作っていきたいと思っています。

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 2	意見	のるーと太宰府が運行されている地域の人が、のるーと太宰府は便利だと言っているのを耳にする。 まほろば号は西鉄都府楼前駅に行くが、この地域の最寄り駅は西鉄下大利駅であることから、私たちは西鉄都府楼前駅ではなく西鉄下大利駅に行きたい。 いろいろな問題があると思うが、ぜひ、西鉄下大利駅への乗り入れをお願いします。	(都市整備部長) 本地域の西鉄下大利駅への乗り入れに対するニーズが高いことは十分承知しています。 国分・水城地区は、12月からデマンド交通実証運行を開始する予定です。台数の関係もございますことから、まずは市内での移動方法を確保するために実証運行を行います。その中で、皆様からのご意見をいただきながら、西鉄下大利駅への乗り入れも検討していきたいと思っています。

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 3	意見	本市から下大利団地方面へ車で向かう場合、水城橋を渡ってから下大利団地内を直進することができれば、西鉄下大利駅までのアクセスが良くなる。しかし、環境面の問題や住民との対話不足が原因なのかは不明だが、反対運動の看板が設置されていることから、反対運動もあるのだろうと思われる。 利便性向上のために、太宰府市・大野城市・住民で何がネックなのかを話し合い、直進道路の整備を実現していただけないだろうか。すぐには実現できずともやっていただきたい。 また、水城橋を拡幅できれば、災害時等もスムーズに車で移動できると思うし、まほろば号の西鉄下大利駅への乗り入れもしやすくなるのではないだろうか。 次に、五条駅入口交差点は右折しにくい。右折信号があると車の流れがスムーズになるし、事故等も少なくなるのではないと思う。警察署の管轄かもしれないが、ご配慮いただきたい。	(市長) 水城橋の件について、本路線は、太宰府市・大野城市にまたがる都市計画道路の計画がございます。都市計画道路を整備するには、住民の皆様のご理解と、両市の実行に向けての協調性が必要です。できるならば一刻も早く対応したいところではありますが、都市計画道路を造設することで住居移転を強いられる方々も出てきますので、どうしても一朝一夕にはいきません。しかし、計画に基づきながら対応していきたいと思っています。長年の課題なのですぐには解決しないと思いますが、今後も大野城市と協力していきたいと思っています。 また、五条駅入り口付近の交差点についてですが、君畑交差点から五条駅の方へ向かう三叉路の交差点ではないかと思います。その先の県道の方は右折信号がつけました。こちらは何十年と長い間に渡り地域の方のご要望もあり、最近になってようやく五条交差点右折信号が設置された経緯がございます。君畑交差点から五条交差点方面へ向かう車両が、五条駅入口交差点で右折待ちのため滞留していることにより、直進車両も進めない状況となっていることも承知しています。本件は警察署の所管となることから、五条交差点の右折信号設置の際も警察署に対して、本市から何度も要望してきましたし、今のご意見を受けまして、こちらの交差点につきましても、地域住民の方のご要望があることを警察の方へ伝えていきたいとので、一朝一夕に結果はでないかもしれませんが、頑張ってまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 4	意見	水城台区の安全を守るために、4 台防犯カメラを設置してほしいと市に要望した。それと同時に、区でも防犯カメラ設置に向けて予算を組んだところだが、防犯カメラ設置をお願いできないか市に確認したところ、市が 2 台設置することから、区は 2 台分の支出で済む見込みである。防犯カメラを 4 台設置することで、より安全な地域になると思われる。防犯カメラは犯罪の抑止効果があるのでありがたい。予算のある限り、ぜひともほかの自治会にも補助していただき、防犯に強いまちづくりを進めていただきたいと思う。 国分小校区は、各自治会でホームページを運営していることから、IT 化が進んでいる地域と呼ばれることがある。地域の若い人たちの中には、男女を問わず IT システムに強い人もいるはずである。ぜひ、そういう人を巻き込んで、地域の IT 化が推進されればいいと思う。市の方からも各自治会へ提案し、「安全・安心のまちづくり」を進めていければと思う。 令和 8 年熊本地震での経験・課題を市は今後に備えて有効に役立てるべきである。テレビでニュースを見ていると、被災地においては給水車で飲み水の供給はあるが、トイレを流すための水が不足していると聞く。この場合、井戸水が使えると思うので、井戸水の活用も検討してほしい。地域住民が使いやすいように、できたら地域の中央、水城台公民会の前に井戸を掘っていただきたい。	(市長) 防犯カメラについて、選挙公約にも掲げた「安全・安心のまちづくり」に資するものであることから、令和 7 年度と比較して令和 8 年度は予算を倍増しています。防犯カメラを設置することで犯罪の抑止につながりたい、という思いは一緒です。今後も防犯カメラを含め、「安全・安心のまちづくり」に努めていきたいと考えております。 自治会ホームページについて、おっしゃるとおり国分小校区は市内でも率先して IT 化に取り組んでいただいています。今後、この流れがほかの地域にも広がるように市としても努めていきたいと思います。もしよろしければ、先進的な国分小校区の皆様にもご指南いただければと思いますのでよろしく願いいたします。 井戸水について、確かに有効な方法の一つだとは思いますが、井戸を掘っても水が出ない可能性もあることから、税金を使ってというのが難しいのが現状です。しかし、今回の令和 8 年熊本地震を教訓に、水も含めて本市には何が必要で、何が不足しているのかを新たに検討させていただきたいと思います。

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 5	意見	「プラム・カルコア太宰府」という施設名称について、「プラム・カルコア」といっても、中央公民館と言い換えている。実際、文字でも「プラム・カルコア太宰府(中央公民館)」と表記されている。 横文字ではなく、言いやすい「市民会館」のような名前にするという一つの提案である。	(市長) 「プラム・カルコア」についてでございますが、カッコいい横文字ではなく、市民の皆さんがわかりやすいような名称でということが質問のご趣旨ではないかと思えます。そういうご意見も踏まえ、今後、市の施設につきましてはできるだけ全世代の人にとってわかりやすいような名称にしていきたいと思っています。

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 6	意見	井戸を掘ったことを市に届け出ると下水道料金が発生する。自治会が作成した井戸がある世帯の情報を市に提供することは、その世帯から下水道料金を徴取することにつながる。例えば災害時協力井戸に登録していただけるならば、井戸の下水道料金は減免や控除するなどが無いと、表立って手をあげてくれる人がいないのではないかと思いますので、頭の片隅に入れてもらえればと思う。 通学路の件について、若いお父さんお母さんがみなさん言われるが、国分小学校まで小学校近くの山道を超えれば 5 分で着くところ、今の通学路では小学生の足で 25 分以上かかる。水城ヶ丘区はもっとかかる。子どもにはきつい。酷暑の中、タブレットも持ち運んでおり非常に重たい。小学校の PTA は「なぜ通さないのか」と話している。道ではなく整備されていないため現状では難しいことは皆さん理解している。この道をどうにか整備できないものか。例えば水城の史跡の回遊性も考え、ここだけ改良が無理であれば史跡見学の通路にもなるようなものなど。要望しても毎回返ってくるのが「文化庁が」。文化庁が障壁となっている。掘るのではなく盛土にするなど、文化庁に跳ね返されることのない工夫をしてもらいたい。昔の夏とは事情が違うので、子どもたちの負担軽減にも市には尽力してほしい。	(教育長) ご指摘の山道を上から見ると、傾斜がだいぶ急に感じられます。登山客も結構いらっしゃるし、イノシシやタヌキなどの害獣も頻繁に出現すると聞いています。例えば雨の日などに、山道の途中で通学列の先頭の子どもが滑落したら、後ろに続く子どもたちも全員滑落してしまうのではないかと、などといった様々な危険性があることから、通学路として認定できていない状況です。 また、国分小校区は、通学路における子どもたちの見守り活動がとても評価されています。地域の皆様の見守り活動のおかげで、子どもたちが安心して登下校できています。 史跡を傷つけずに通学路を整備するためには、文化庁と十分な協議が必要になってくると思われますが、今後も様々な場面で可能性を探っていくことは大事だと考えています。すぐにとすることは難しいと思われますが、ご理解いただけますようお願いいたします。
質問者 7	質問	本市の第 1 次避難所には空調がすべて整備されているのか。	(総務部理事) 公民館、小学校体育館には空調設備が整っており、お近くの避難所にはおおむね空調設備が整っています。